第２章　計画の基本的な考え方

１　基本理念

本町では、「安心・生きがい・幸せあふれ、ホッとするまち愛荘町」を基本理念に据え、高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画を推進してきました。この基本理念には、「安心＝見守りやサービスによって安心できる」、「生きがい＝生涯を通じて生きがいを持ち、社会参加できる」、「幸せ＝幸せな高齢期のため、高齢者自身も含めて支え合える」といった思いが詰まっています。

高齢化が進行し、介護保険をはじめとする社会保障制度が変化するなかにおいても、これらの思いを受け継ぎ、未来へと引き継いでいくことが大切です。このため、本計画においても、引き続きこの基本理念を継承し、その理念のもとで計画を推進します。

A　I　S　H　O

安心・生きがい・幸せあふれ、ホッとするまち

愛　荘　町

A　安　　心 ➔ 見守りやサービスの提供により、安心して暮らせるまちをめざします。

I　生きがい ➔ 生涯を通じ、生きがいを持ち、社会参加できるまちをめざします。

S　幸　　せ ➔ 幸せな高齢期のため、高齢者自身も含めて支え合えるまちをめざします。

HO　ホッとするまち

2　基本方針

(1) 地域包括ケアに向けた方針

計画の基本理念である「安心・生きがい・幸せあふれ、ホッとするまち愛荘町」の思いを胸に、愛荘町ならではの『地域共生社会』の実現に向け、引き続き「一人ひとりに目が行き届く地域包括ケアシステムの深化・推進」を基本方針とし、基本となる「予防」「介護」「医療」「生活支援」「住まい・生活環境」に「生きがいや余暇」を加えた６つの視点で 2025 年さらには 2040 年に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みます。

なお、取り組みにあたっては、頻発する災害や新型感染症等に対する備え（新しい生活様式への対応等）などにも配慮しながら、さまざまな工夫を取り入れ、地域包括ケアを推進していきます。

一人ひとりに目が行き届く地域包括ケアシステムの深化・推進

予防	介護予防の充実により、要介護状態になることを防ぎ、誰もが元気に暮らすことができる地域づくりをめざします。
介護	介護サービスの充実と適切な利用の促進により、介護が必要になっても安心して暮らせる地域づくりをめざします。
医療	医療・看護・介護の連携強化により、在宅医療体制や人生の最終段階における医療体制の充実をめざします。
生活支援	介護保険サービス等の公的な支援だけではカバーできない、ニーズに応じた多様な生活支援サービスの提供をめざします。
住まいと生活環境	住まいの場や移動手段の確保などにより、安心できる住環境づくりをめざします。
生きがいや余暇	高齢者が地域において活躍できる場をつくるなど、誰もが生きがいを持つことができる地域づくりをめざします。

(2) 日常生活圏域の設定

本計画においては、愛荘町全体を１つの日常生活圏域として設定します。

3　重点目標

本計画においては、前記の基本理念、基本方針のもと、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるための取り組みを総合的に進めるものですが、第６期計画、第７期計画の取り組みを受け、さらに第９期計画、それ以降へと継続していく取り組みのなかで、今期において重点に置くべきものを定めます。

第６期計画においては、①中年層の健康維持と介護に関する意識の向上、②元気な高齢者の介護予防と社会参加の促進、③安心できる在宅介護の定着の３つを重点目標に掲げ、重点的に取り組んできました。これらによって、介護予防活動の普及が図られたほか、生活・介護支援サポーターの登録者も増えており、引き続き、取り組みを充実させていくことが必要です。一方、国から「認知症施策推進大綱」（令和 2 年 6 月 18 日）が示されたことから、認知症に対する取り組みは今まで以上に強力に進める必要があります。

こうしたことを受けて、本計画では、次の３点を重点目標として掲げ、限られた資源を有効に活用して、施策と事業を展開します。

第７期計画の重点目標と残された課題

重点目標①
中年層の健康維持と介護に関する意識の向上

■フレイル予防といった面でも、老後を迎える前からの取り組みが重要になるため、より一層、中年層に向けた意識啓発が必要。

重点目標②
元気な高齢者の介護予防と社会参加の促進

■介護予防に関する情報を提供するとともに、身近な場で機会づくりをしていくことが必要。
■生活・介護支援サポーターのグループの組織化や活動しやすい環境づくりを進めることが必要。

重点目標③
安心できる在宅介護の定着

■地域での支え合いのなかから高齢者の生活支援が提供される仕掛けづくりが必要。
■認知症の特性に合ったサービスの充実とともに、認知症に対する理解を促していくことが必要。
■在宅で介護・療養を続けるための医療・看護・介護の連携がより一層必要。

本計画の重点目標

重点目標①
中年層からの切れ目ない介護予防活動の普及

重点目標③
地域での交流・支え合い活動の促進

重点目標②
認知症施策と医療・介護連携の総合的推進